WinBook WA
シリーズ
BIOS セットアップ
マニュアル

●BIOS セットアッププログラムについて

BIOS セットアッププログラムとはパソコンの BIOS 設定を確認したり、変更するためのプログラムです。本機では Phoenix BIOS を使用しています。セットアッププログラムは、マザーボード上のフラッシュメモリに格納されているため、いつでも実行できます。
BIOS セットアッププログラムで定義する設定情報は、CMOS RAM と呼ばれる特殊な領域のメモリに格納されています。このメモリはマザーボードに搭載されたバッテリーによって保存されているため、パソコンの電源を切ったり、リセットしてもメモリの内容が消えることはありません。パソコンが起動するたびに設定のチェックを行い、CMOS RAM 内の情報と、実際のハードウェア設定に違いが見つかれば、セットアッププログラムを実行するよう要求してきます。

*****注意*****

BIOS の設定を間違うと、深刻なトラブルを引き起こす原因となります。BIOS 設定の際には細心のご注意をしてください。また、ご理解できない場合は BIOS の設定を変更しないことをお勧めします。

***** メモ*****

・BIOS 設定を変更する場合、あとで参照できるよう現在の設定をメモしておくことをお勧めします。
・実際に表示されるメニューは、パソコンに接続されているハードウェアや環境により、多少異なる場合があります。

●BIOS セットアッププログラムに入るには

１．本機の電源を入れると"SOTEC"ロゴが表示されるので、その画面が切り替るまでに[F2]キーを押してください。キーを押すのが遅れると、Windows が立ち上がります。

2. BIOS セットアッププログラムに入ると、【セットアップメニュー】が表示されます。メニュー画面の最下部には、使用可能なキーの一覧が表示されます。

セットアップ画面の最上部のメニューバーから使用できるメニュー

メニュー画面	説 明
Main	ハードウェアコンポーネントにリソースを割り当てます。
Advanced	チップセットを介して使用できる、高度な機能を指定します。
Security	パスワードとセキュリティ機能を指定します。
Boot	起動オプションと電源制御を指定します。
Exit	変更を保存、または廃棄します。

メニュー画面で使用できるファンクションキー

セットアップキー	説 明
[F1] または[Alt+H]	現在の項目のヘルプ画面を表示します。
[Esc] または[Alt+X]	メニューを終了します。
[←] または[→]	別のメニュー画面を選択します。
[↑] または[↓]	カーソルを上下に移動します。
[F5]	フィールドに対して前の値を選択します。
[F6]	フィールドに対して次の値を選択します。
[F9]	現在のメニューに対する、デフォルトの設定値を読み込みます。
[F10]	現在の値を保存し、セットアップを終了します。
[Enter]	コマンドを実行したり、サブメニューを選択します。

ヘルプウィンドウ

各メニューの右側のフィールドヘルプウィンドウに、現在選択しているフィールドのヘルプが表示されます。また、どのメニューにおいても、[F1] キーを押すと総合的なヘルプが表示されます。

●BIOS セットアッププログラムメニュー

Main メニュー

CPU やメモリの情報を見たり、システムの日付や時刻、フロッピーのオプション、
IDE デバイスの設定を行います。

機 能	オプション	説 明
System Time	時／分／秒	現在の時刻を指定します
System Date	月／日／年	現在の日付を指定します。
Primary Master (サブメニュー)	オプションなし	接続されているIDE デバイスのタイプを表示します。これを選択すると、Primary IDE Master サブメニューが表示されます。
Secondary Master		接続されているIDE デバイスを表示します。
System Memory		システムメモリの量を表示します。
Ext. Memory		拡張メモリの量を表示します。
CPU Type		CPU のタイプを表示します。
CPU Speed		CPU の速さを表示します。
BIOS Version		BIOS のバージョン を表示します。
KBC Version		キーボードコントローラのバージョンを表示します。

IDE デバイス設定サブメニュー

機 能	オプション	説 明
Type	･None ･ATAPI Removable ･CD- ROM ･IDE Removable ･User ･Auto	IDE デバイスの設定モードを指定します。 ･User では、シリンダー、ヘッド、セクターフィールドを変更することができます。 ･Auto では、シリンダー、ヘッド、セクターフィールドに自動的に値が入力されます。
Cylinders	1 ～xxxx	ディスクのシリンダー数を指定します。
Heads	1 ～16	ディスクのヘッド数を指定します。
Sectors	0 ～63	ディスクのセクター数を指定します。
Maximum Capacity	オプションなし	ハードディスクの最大容量を表示します。値は、シリンダー、ヘッド、およびセクター数から計算されています。
Total Sectors		ハードディスクの総セクター数を表示します。
Maximum Capacity		ハードディスクの合計最大容量を表示します。値は、シリンダー、ヘッド、およびセクター数から計算されています。
Multi- Sector Transfers	･Disabled ･2 Sectors ･4 Sectors ･8 Sectors ･16 Sectors	ハードドライブからメモリに転送する1 ブロックあたりのセクター数を指定します。 最適な設定については、ハードディスクの仕様を確認してください。
LBA Mode Control	･Disabled ･Enabled	シリンダー、ヘッド、セクターの代わりに、論理ブロックアドレッシング(LBA)を有効(Enabled)または無効(Disabled)にします。 注意！ ハードディスクをフォーマットした後にLBA Mode Control の設定を変更すると、ハードディスク上のデータが破壊されることがあります。
32 Bit I/O	･Disabled ･Enabled	CPU とIDE カード間での 32 ビット伝送を有効(Enabled)／無効(Disabled)にします。 PCI 、またはローカルバスが必要です。
Transfer Mode	･Standard ･Fast PIO 1 ･Fast PIO 2 ･Fast PIO 3 ･Fast PIO 4 ･FPIO3/DMA1 ･FPIO4/DMA2	ハードディスクとシステムメモリ間でのデータ転送方法を指定します。
Ultra DMA	･Disabled ･Mode 0 ･Mode 1 ･Mode 2 ･Mode 3 ･Mode 4 ･Mode 5	ハードドライブの Ultra DMA モードを指定します。

Advanced メニュー

チップセットを介して使用できる高度な機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Share Memory Size	•16M •32M •64M	メインメモリからグラフィックスメモリに割り当てる容量を設定します。
Expansion Mode	•Disabled •Enabled	ビデオ拡大機能の有効(Enabled)／無効(Disabled)を設定します。
USB Legacy Support	•Disabled •Enabled	BIOS 内にあるUSB キーボード・ドライバーの有効(Enabled)／無効(Disabled)を設定します。
PXE Disable/Enable	•Disabled •Enabled	PXE(Preboot eXecution Environment)の有効(Enabled)／無効(Disabled)を設定します。

Security メニュー

パスワードとセキュリティ機能を設定します。

機 能	オプション	説 明
Set Supervisor Password	パスワードには、最大で 8 文字の英数字が使用できます。	BIOS セットアッププログラムに入る時のパスワードを指定します。
Set Power-On Password	パスワードには、最大で 8 文字の英数字が使用できます。	起動時にパスワードを入力しないと起動できないようにします。

***** メモ*****

パスワードの保管について

入力したパスワードは覚えておくか、必ずメモしておくようにしてください。パスワードを忘れると、次に電源を入れたときにパソコンが使えなくなります。また、セットアッププログラムに入ることもできなくなります。

パスワードを削除、または変更

現在のパスワードを削除したい場合は、以下の手順に従ってください。

1 Security メニューの Set User Password、または Set Power-On Password で、[Enter] キーを押します。

2 [Enter Current Password] に現在のパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

3 現在のパスワードを削除するには、[Enter New Password] で、[Enter] キーを押すだけにします。

4 [Confirm New Password] が表示されたら、もう一度[Enter] キーを押します。

5 次のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。

Change have been saved. 変更は保存されました）

現在のパスワードを変更するには手順3 と4 で、[Enter] キーを押す前に新しいパスワードを入力してください。

Boot メニュー
起動順序を設定します。

機 能	オプション	説 明
なし	•CD-ROM Device •USB Floppy •Hard Disk Device •Network Boot	使用可能なデバイスから起動順序を指定します。 起動順序を指定するには、 1.[↑] または[↓] キーで起動デバイスを選択します。 2.デバイスをリストの上に移動するには[F5]キー、下に移動するには[F6]キーを押します。

Exit メニュー
セットアッププログラムの終了、変更の保存、デフォルト設定の読み込みや保存を行います。

機 能	説 明
Exit Saving Changes	セットアップを終了し、変更をCMOS RAM に保存します。
Exit Discarding Changes	セットアップで行ったすべての変更を保存しないで終了します。
Load Setup Defaults	すべてのセットアップオプションに対してデフォルト値を読み込みます。
Discard Changes	セットアップは終了せず、変更を破棄します。パソコンの電源を入れたときのオプション値が使用されます。
Save Changes	変更をCMOS RAM に保存します。